

事務事業	14023	中学校部活動支援事業	担当課 課長	学校教育課 太田 成洋	担当係 担当者	学校教育係 春田 美香	
計後 画期 体計 系画	施策	06	子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
		取り組み方針	190 学力向上と豊かな心を育てる		款	10	教育費
					項	3	中学校費
					目	2	教育振興費
基本事業							
法令根拠条例等			個別計画				
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 不明 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度						

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 部活動で使用する備品や消耗品の購入及び備品の修理費、部活動の外部指導者の謝金を支払い、上部大会への参加旅費を補助金として交付することによって、生徒の部活動参加の経費負担を軽くする。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 備品の修理・購入費、消耗品の購入費、上部大会等参加のための補助金の支出	主 な 事 業 費 の 内 訳	消耗品費	2,059 千円
		体育大会等参加者旅費補助金	1,628 千円
		物品等修繕料	783 千円
		講師謝礼金	712 千円
		部活動備品購入費	598 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 部活動で使用する備品・消耗品の購入及び備品の修理。上部大会への参加旅費補助金の交付。外部指導者の謝金の支払い。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 中学校生徒	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
		③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 部活動参加者の経済的負担を軽減する。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
			ア	部活に参加する生徒数	人	目標	930	960
	実績					944	827	
	イ				目標			
実績								
ウ			目標					
			実績					
エ			目標					
			実績					
オ			目標					
			実績					

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経 費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	5,761	6,733	5,777	7,375	7,375	7,375
		合計(A)	5,761	6,733	5,777	7,375	7,375	7,375
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	646	1,113	394	832		
	トータルコスト(A)+(B)	6,407	7,846	6,171	8,207	7,375	7,375	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
開始年度は不明。生徒の個性を伸ばし、部員相互の団結・友情を深め、自主的・自発的態度を部活動を通して育成するための部活動に必要な経費の本人負担を軽減する。	部活動も年々技術レベルが向上し、それとともに、備品の高度化が進み、予算も必要とになっているのが現状である。	生徒・保護者及び先生から、部活動に対する町の理解・協力があることに喜ばれている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	部活動を通して、個性を伸ばし、部員相互の団結・友情を深め、自主的・自発的態度を育成し義務教育の充実につながっている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	教育環境の整備は行政の役割であるため妥当。しかし、教育的効果は高いものの教育課程外の教育活動であるため、税金投入にも限度がある。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	さらなる成果の向上を望むのならば、補助金等の予算を増額しなければならぬので財政的に難しい。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	部活動に参加する生徒の経済的負担が増え、参加が困難になる生徒が出てくる可能性がある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	他に類似する事業はなく、事業費を削減すれば、部活動に参加している生徒の経済的負担が増え、部活動に参加できる生徒が減少する可能性がある。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

両中学校とも、九州大会、全国大会に出場する等好成績を出している。町としても懸垂幕を作成して町民センターに掲示し、引き続き生徒の部活動について支援をしていく。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	